

★『ミライ☆メーカー』 提案書★

～子ども×若者×地域が相乗効果が生む循環モデルを～

1. 背景と目的

- ・ 市民の間で地元への愛着低下がみられる。
- ・ 将来を担う子どもと若者が主体的に地域に関わり、成功体験を得る仕組みをつくることで定住意欲と郷土愛を高める。
- ・ 本事業は、小学生から大学生までの連続した挑戦ステージを用意し、学びと実践を循環させることを目的とする。
- ・ そして何より、子どもたちのために私たち大人が本気で行動し、未来を拓く覚悟を社会全体で示すことを目指す。

2. 事業の仕組み(三つのステージ)

2-1 小・中学生向け「夢実現デー」

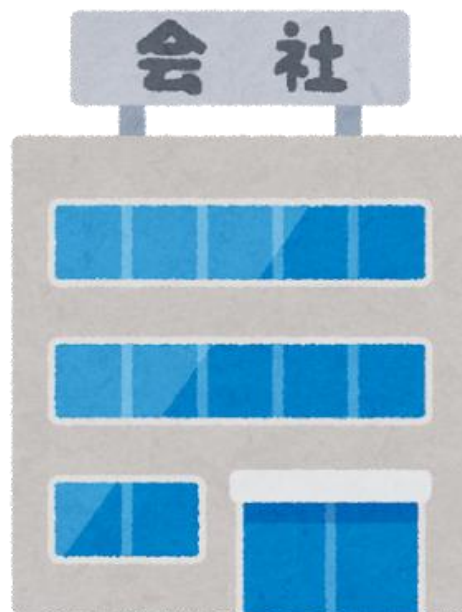
- ①各学級で「今やってみたいこと・将来やってみたいこと」をカードに記入
- ②学校単位で「夢ボード」を作成し市と地元企業等が本気で「夢」の実現サポート！
- ③年1回、市役所や学校で夢実現イベントを開催し、実際に夢の進捗状況や達成を伝える報告会を行う。



2-2 高校生向け

「高校生ビジネスチャレンジ」

①模擬会社を設立し、商品を企画・製造・販売。



②売り上げと経費を計算し決算報告会で成果と課題を共有



③地元商工会議所等がメンターとして本気で伴奏



2-3 大学生向け「ユースまちづくりラボ」



①「学生時代に欲しかった遊び場や・店舗」を
テーマに本気で企画を立案



②市有地や空き店舗、空き家を 90 日間の期間
限定で無償貸与し運営



③利用実績と収益を検証し、本気で常設化の可否を議会へ提案



3. 横断的支援:ミライ☆メーカー認証・バッジ制度



区分	対象	バッジ名	取得条件
基礎バッジ	児童・学生	ドリームスター	イベント参加と振り返り提出
技能バッジ	高校生・大学生・市職員	ビジネスシード / コミュニティデザイナー	売上5万円達成など成果指標クリア
支援バッジ	企業・メンター 資金協力	浜田ドリームサポーター	年30時間以上の伴走・または資金協力
栄誉バッジ	企画立案者	マスターメーカー	本事業の設計・推進を本気で主導

バッジはデジタル証明書として発行し、SNSや履歴書で活用できる。また、本事業を構想・立ち上げた立案チームには、最高位の『マスターメーカー』バッジを授与し、次世代プロジェクトの顔として広報に登場いただきます。

4. 実施体制

- ・ 事務局:浜田市教育委員会・市役所との合同プロジェクトチーム(既存職員を配置)
- ・ 協力機関:浜田商工会議所、地元企業、小学校、中学校、高等学校、大学

5. 年間スケジュール(初年度)

時期	小・中	高校	大学	バッジ
4月	夢カード作成	起業講座開始	空き地募集	デザイン決定
6月	夢カタログ公開	模擬会社設立	設計ワークショップ	システム準備
8月	夢実現デー	販売・広報	施工・開業	参加バッジ授与
10月	—	決算報告会	利用データ収集	技能バッジ発行
3月	ドリームアワード	ビジネスアワード	ラボアワード	支援者バッジ授与

【期待される効果】

1. 若者の地元定着と人口減少対策への貢献

小学生から大学生までが浜田で“夢を叶える経験”を積むことで、地元への愛着・定住意向が強化されます。これにより、Uターン・Iターンを含む若者世代の地元回帰が期待されます。

2. 地域経済への波及と地元企業との新たな連携

高校生のビジネスチャレンジや大学生の社会実験は、実際の消費・来訪者・メディア露出を生み出し、市内経済に直接的なプラス効果を与えます。地元企業は①子どもや教育への支援が広報できること②地域を大切にする会社として認識されること③地元の高校生や大学生とつながることで採用面で有利になれます。

3. 「浜田は面白いまち」という都市イメージの確立

子どもたちの挑戦を市が全力で後押しする姿勢は、外部から見た“投資価値ある自治体”というイメージにつながり、移住促進やふるさと納税にも好影響をもたらします。

4. 教育・福祉・産業の連携強化（行政効果の横断化）

本事業は教育委員会・市役所等が横断的に連携し、分野を超えた協働を生み出す実例となります。

5. 持続可能な地域づくりに向けた“ミライへの投資”

本事業は単年のイベントで終わるものではありません。“挑戦と実現の循環”が生まれ、地域の活力を中長期にわたり維持・発展させる仕組みです。子どもと若者の夢に本気で投資することこそが、浜田市の未来への最良の投資です。

6. 結び

子どものために大人が本気を出すからこそ、この企画は成功します。市民の皆さまと一緒に、夢と挑戦が循環する浜田を本気で創り上げましょう。議会の皆さまにおかれましては、本提案への積極的なご審議とご協力をお願い申し上げます